

横浜国立大学留学生による自国の文化紹介 カメルーンの紹介

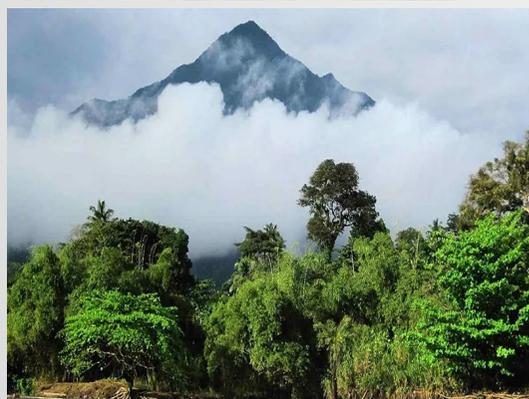
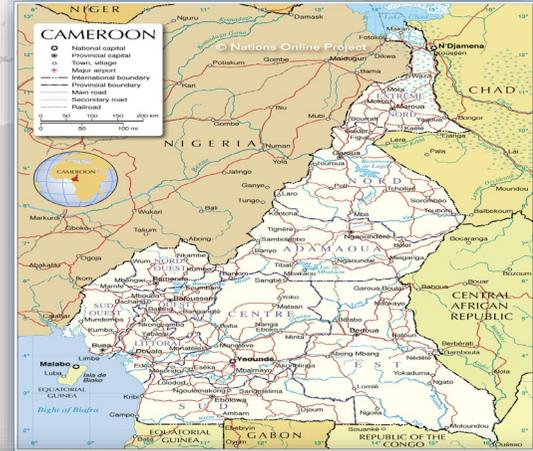


私の名前はコジョ ルロワ (KODJO TCHAKOUTE CONSTANTIN LEROY) です。

私は現在、横浜国立大学の大学院で電子情報システムの修士課程に在籍しています。

私はアフリカの中央部にある、カメルーンという国からきています。ヤウンデ市はカメルーン的首都で私の故郷でもあります。ヤウンデはカメルーンで2番目に人口の多い町で、中央政府の中枢でもあります。

カメルーンには、天候から文化、言語、そして野生動物まで、多様性が溢れています。「フランス語」と「英語」が公用語ですが、約240の民族には約260の民族語があります。カメルーン人はとても誇り高い国民ですが、勤勉でもあり、どこにいても常に優秀であろうとします。



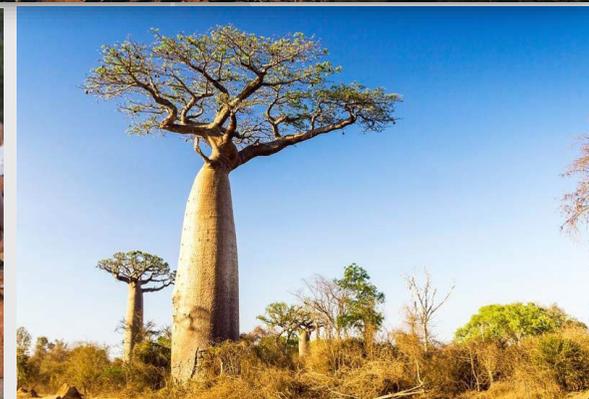
カメルーン山: 4040m



バミレケ族の伝統的衣装・踊り



エカン・ベティ族の伝統的衣装・踊り



バオバブ: 「生命の樹」 2000年以上前の種もある